

大山の森だより

2012年新春号

大山のようす

大寒波襲来。気温は日中にも関わらず、氷点下10度。風雪の後は、綺麗に晴渡り青空が見えました。



スキー場から見た大山、久しぶりの青空



金門の風景、賽の河原も真っ白です

冬芽と葉痕の観察会(1月15日)

最初に冬芽について説明を聞いてから、スノーシューを履いて歩きました。



※維管束(いかんそく)とは葉・枝・幹・根につながる水分や養分が通る管のこと

冬芽の形、芽鱗(がりん)、裸芽(らか)、隠芽(いんが)の違いについて説明を聞いています。葉痕の中の維管束痕の数による見分け方も聞きました。



コシアブラの冬芽について説明を聞いています。(写真上)

クロモジについて説明を聞いています。功德が足りれば幹に書かれた経文が読める?(写真左)

この形、何に見えますか?

ウサギやキツネ、鬼に見えるという声も聞こえてきました。

オオカメノキの冬芽です、特徴のある形で、覚えやすかったようです。



最後は急斜面をお尻で滑っておりました。

童心にかえて楽しんでいました。また、参加したいという人が多かったです。



植物の見分け方、覚え方

鳥取県西部地区で見られるカンアオイの仲間について比べてみましょう。

	ミヤコアオイ	ヒメカンアオイ	フタバアオイ	ウスバサイシン
全体の形	 <p>山地の林内に生える常緑の多年草。葉は光沢が薄く、散毛がある。葉の表面に雲紋がでやすい。</p>	 <p>山地の林内に生える小型の常緑の多年草。葉は薄い斑紋状模様。花期は早く、積雪の中で開花。</p>	 <p>山地の林内に生える多年草。葉の両面に白短毛がある。自家受粉する。徳川家の葵の御紋として有名である。</p>	 <p>山地の湿った溪流沿いなどに生える多年草。葉は円心形で、先はとがり質は薄い。</p>
花の形	<p>カンアオイ属の花は、下半分は筒型か壺型になり、3個の萼片が平開または反転する。花びらはなく、萼片が花びらのように見える。</p>			
	 <p>口の部分が著しくくびれているのが特徴</p>	 <p>くびれがなく、萼片は三角形に3裂</p>	 <p>萼片は三角形で強く反り返る</p>	 <p>巾着型</p>

ミヤコアオイの開花までの様子

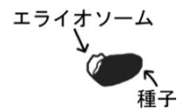


11月後半には新芽が出ています

雪解けを待って開花します

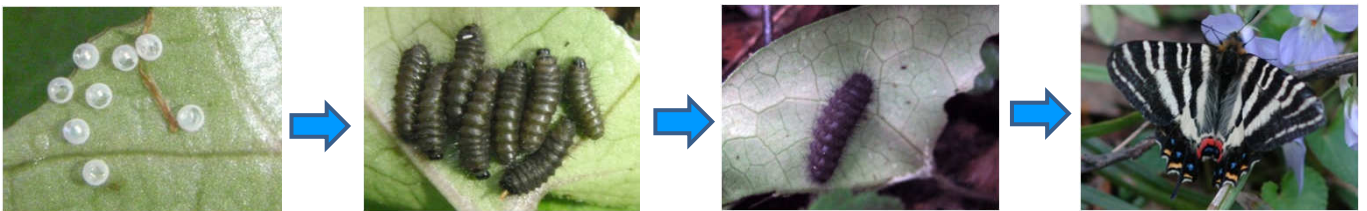
ここは花びらではなく萼片です

エライオソームのついた種子をアリが見つけて巣に運びます。運ばれた種子は、巣の中でエライオソームの部分だけが食べられ、巣の中のゴミ捨て場や、巣の外へ土と一緒に捨てられたりします。そこで発芽することができます。分布区域の拡大は、平均50cm/年といわれています。このような方法で、種子を散布する植物をアリ散布植物といいます。(ほかにスマレ属、カタクリ属など)



※エライオソームとは、アリを誘因する物質(オレイン酸などの脂肪酸、グルタミン酸などのアミノ酸、ショ糖などの糖)を含んだ種子の付属体のことです。

ミヤコアオイはギフチョウの食草になっているので、葉の裏を探してみたら幼虫がたくさんいました。



ギフチョウの卵
まるで真珠のようです

ギフチョウの幼虫
孵化したばかりの頃はかたまっていたのですが、20日後には幼虫は広がっていました

20日後の幼虫

ギフチョウの成虫
(さなぎの写真はないですが)

12～1月に出会った(確認した)動植物

○大山と周辺の木の実特集



ツルマサキ



ブナ



カラマツ



オオバヤシャブシ



マユミ



コマユミ



ムラサキマユミ



ツリバナ



ツルシキミ



ヒメモチ



オオミヤマガマスミ



ミヤマガマスミ



ヤドリギ



ナナカマド



タンナサワフタギ

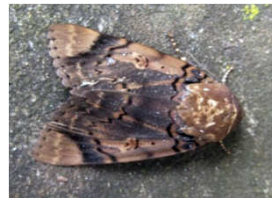


サワフタギ

○大山と周辺の生き物たち



クロテンフユシャク



フクラズズメ



カマドウマ



カワゲラ

声や姿を確認できたもの

野鳥 アオゲラ、アカゲラ、アトリ、エナガ、オオルリ、キジバト、コガラ、ゴジュウカラ、シジュウカラ、スズメ、ツグミ
ハシブトガラス、ヒガラ、ヒヨドリ、ホオジロ、ヤマガラ、ヤマドリ

その他 イタチ、カメシ、キロスズメバチ、キツネ、クモ類、スズメバチ、タヌキ、テン、ノウサギ
フユシャクの仲間

大山周辺の主な行事

■自然公園財団主催のイベント

アニマルトラッキング

2月26日(日) 午前9時30分～13時

場 所 : 大山寺周辺

集 合 : 大山情報館1階

参加費 : 2,500円

募集人数 : 15名

内 容:

「アニマル」は動物で、「トラック」は追跡。動物の足跡や食事の跡など、動物がいた痕跡を見つけて探してみよう。運が良ければウサギに会えることも。

大山冬の虫観察会

3月4日(日) 午前9時30分～13時

場 所 : 大山寺周辺

集 合 : 大山情報館1階

参加費 : 2,500円

募集人数 : 15名

内 容:

真冬の大山。博労座周辺も寒い時には氷点下10度になることも。そんな中でも、多くの昆虫たちが活動していることを知っていますか？

大山野鳥観察会

4月7日(土)、4月21日(土) 午前9時～12時

場 所 : 大山寺周辺

集 合 : 大山情報館1階

参加費 : 500円

募集人数 : 10名

内 容:

春の野鳥観察会。春は野鳥のさえずりが1年の中で最も盛んになる時期です。大山寺周辺で生活している野鳥たちを専門スタッフと一緒に散策し観察しましょう。

■大山周辺のイベント情報

大山春の一斉清掃 4月15日(日)

「ごみのないきれいな大山を」5月の連休前に関係者やボランティアが集まり、清掃活動が行なわれています。毎年春と秋の2回開催され、通算70回目を迎えます。

大山の四季写真コンテスト作品展(大山自然歴史館) 3月20日(火)～4月15日(日)

大山の自然・史跡・祭・イベントをテーマに撮影された四季の写真。300点の応募作品の中から入賞作品33点が一堂に展示されます。

大山環状道路の冬期閉鎖解除・鍵掛峠の除雪作業 3月下旬～4月上旬予定

大山の春到来を告げる、春の風物詩。

環状道路の残雪をロータリー車で一気に飛ばす雪のアーチは圧巻。

自然公園財団 鳥取支部 大山事業地
〒689-3318 鳥取県西伯郡大山町大山40-33(大山情報館1階)
TEL:0859-52-2165 FAX:0859-52-2371
URL: <http://www.bes.or.jp/daisen/>